2021年度事業報告書

特定非営利活動法人まち･コミュニケーション

【2021年度の活動の総括】

2021 年度は、コロナ禍でありましたが、その合間を縫っての防災を伝えるための講演や、オンライン等を用い活動を行うことができました。皆さまもコロナ禍で大変な中、当団体を支えてくださり、まずは感謝申し上げます。

感染症対策をした上で、被災地支援の一貫で、東日本大震災、令和元年１９号台風の被災地を訪問し、被災者の生活再建や地域の復興まちづくりの支援・調査研究活動を行いました。

また、昨年度同様に、オンラインを活用しながら、勉強会事業等を行いました。オンラインを用いることで、事務所のある神戸市だけでなく、広く全国から参加してくださいました。

過去の震災復興まちづくり支援の経験から、発災前から防災に取り組み、対処方法を検討しておかなければ復興が遅くなることを学びました。そこで、防災や事前復興まちづくりの重要性を伝えるための活動も行っています。講演活動や防災まちづくりに携わる仲間を増やしていこうと、“被災地のつぶやき” のインターネット発信、勉強会の開催に加え、“災害への備え ～命・住まい・コミュニティー～”のインターネット配信もしています。

各事業について下記で報告させていただきます。

団体設立から 25 年を迎えました。多くの方々に支えられ、活動を継続することができました。感謝いたします。

【事業報告】

<u>まちづくり部門</u>

●被災地復興支援事業

被災地を訪問し、復興まちづくりや支援者への情報提供の活動を行いました。

東日本大震災・2019 年台風 19 号・福島県沖地震（宮城県、福島県）

［事業概要］

当団体では、東日本大震災以降、宮城県石巻市に常駐し、被災者の生活再建支援、復興まちづくり支援を行ってきました。発災３年目頃から、石巻市だけではなく、三陸沿岸部の地域とのネットワークを形成して、知見の交流をしてきました。2019 年には、大規模な水害が宮城県の南部・北部で起こり、発災直後から、被害状況を把握しながら、情報の共有やネットワークづくりを行い、復興支援をしています。

［2021 年度の活動］

2021 年度は福島県沖地震と東日本大震災、2019 年台風 19 号の被災地（宮城県）を４回（3 月 5 日～7 日、3 月 26 日～28 日、12 月 4 日～7 日、12 月 13 日～15 日）訪問しました。

復興まちづくりの現場やその後の地域づくりを支える NPO 団体等を訪問し、東日本大震災から 10 年を迎える被災地でどのように活動をしていくのかについて情報交換しました。復興まちづくりに詳しい学識経験者にも同行していただきました。

当団体が東日本大震災の復興を常駐する形で支援するための重要な拠点となっていた東北事務所。10 年前から個人宅を使わせていただいていました。東日本大震災 10 年を経てネットワークができ、常駐しなくても支援できるようになりましたため、東北出張所を閉鎖いたしました。

▲3 月 7 日　福島沖地震・新地町災害ボランティアセンター

▲3 月 6 日　被災者の住む災害復興住宅

●地域まちづくり支援事業

［事業概要］

当団体は、阪神・淡路大震災後の火災により地区の８割が被害を受けた神戸市長田区御蔵地区の地域再生支援に取り組み、現在も事務所を置いています。御蔵地区での活動を続けるとともに、平常時のまちづくり支援も行っています。

［2021 年度の活動］

2021 年度は、御蔵北公園で震災以降、規模や形を変えながらも続けている阪神・淡路大震災の慰霊法要の開催支援を、充分な感染症対策で行いました。

また、各地域で地域づくりや復興支援のボランティア活動に関わる方が、相談に来られました。当団体で培った、NPO 組織を継続運営していくために必要なノウハウを伝え、相談

にのりました。

事前復興まちづくり

［事業概要］

これまでの復興まちづくり支援の経験から、災害が起こってから初めてスタートさせる復興まちづくりでは限界があると確信し、2016 年度より、事前復興まちづくりへも取り組みを始めました。日本各地へ講師として出向き、備えの大切さや、災害後の地域づくりのポイントを伝えています。

［2021 年度の活動］

今年度は、事前の備えをテーマに講演会を行いました。

●まちづくり研究調査事業

［事業概要］

震災復興などの関する自主調査を実施するほか、研究者や学生の現地調査のコーディネート、関東都市学会からの作業の受託などをしています。

［2021 年度の活動］

大学生や学識経験者を、現地（神戸市、兵庫県）で受け入れました。コロナ禍により遠隔になりましたが、様々な被災地への調査・視察コーディネートや支援を行いました。阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震等、復興まちづくりの現場で行われていることを知っていただく機会となりました。

関東都市学会からニュース及び年報の発送作業と会費請求作業を受託し、２月、４月、８月、１１月に発送。５月には、年報の発送も行いました。

学びの場づくり部門

●震災体験学習事業

［事業概要］

阪神・淡路大震災の教訓を次の世代に伝えようと、震災を体験した語り部有志の皆様ともに中高生への震災体験学習を行っています。

［2021 年度の活動］

2021 年度は、震災体験学習の実施はありませんでした。

●研修受入事業

［事業概要］

まちづくりから学んだことを伝えるため、各種団体の視察・研修受入を行っています。受入場所は、神戸市長田区御蔵通・東日本被災地・兵庫県豊岡市出石町等です。

［2021 年度の活動］

2021 年度は、下記のとおり５件の研修を受け入れました。視察者の防災力向上を目指し、兵庫県にて被災地の現状と復興まちづくりについて伝えました。

＜2021 年度研修受け入れ状況＞

日	受講者（主催者）	テーマ・目的	人数
1/11	神戸アイウォーク	神戸市長田区御蔵地区について	685 回視聴（オンライン）
1/30	関西大学	神戸市長田区の復興状況	2
2/4	関西国際大学	都市の脆弱性フィールドワーク	16
3/31	関西大学	都市災害とまちづくり～阪神・淡路大震災２６年の経験から～	13
10/7	京都大学	復興まちづくりの担い手育成	1

▲ 関西大学

▲関西国際大学

●講師派遣事業

［事業概要］

『防災』や『災害後の地域づくり』の講演を行っています。テーマは、防災、避難、避難所、要援護者支援、地域づくり等で、人と人の繋がりを活かした解決方法を伝えています。主な対象者は、自治体、企業、大学、学校、自主防災会、町内会等各種団体です。長年の災害復興まちづくり支援の経験や調査・研究を基に、講演内容を組み立てています。

［2021 年度の活動］

2021 年度は下記のとおり 6 件の講師派遣をいたしました。防災や復興まちづくりの大切さを伝えました。

＜2021 年度 講師・パネリスト 派遣実績＞

日	主催者（場所）	講演テーマ	講師等	受講者数
1/20	一般社団法人アスミー	専門家に聞く！進化する災害に対応するために今何をすべきか？	宮定	50（オンライン）
3/20	特定非営利活動法人ふたば	防災をひらくヒント～高齢化率地図で地域を考える	宮定	10
6/16	関西大学	フィールドワークのアドバイス	戸田	15
9/16	兵庫県立舞子高等学校	阪神・淡路大震災後のまちづくり	宮定	40

10/3	夢コミュニティ小坂（兵庫県豊岡市出石町）	これまでの災害を教訓にした安心・安全なまちづくり	宮定	50
11/4	東京大学大学院	阪神大震災から現在までの被災者支援	宮定	30（オンライン）
12/4	東京都荒川区	地震が来る前に考えておこう、住まいとまちのこと	宮定	30

▲夢コミュニティ小坂

▲東京都荒川区

●まちづくり勉強会事業

［事業概要］

各地の災害や、災害発生後の課題などをテーマにした勉強会を、当団体の主催で開催しています。

［2021 年度の活動］

震災復興まちづくりの教訓や経験を今後の災害に活かそうと、オンライン勉強会を 3 回行いました。全国から受講者が参加されました。また、録画を Web にアップすることでいつでも視聴できるようにしました。学生には無料公開し、学びの場を提供しています。

＜2021 年度勉強会 開催実績＞

日	内容	テーマ	講師	受講者数
4/10	オンライン勉強会	熊本地震から 5 年 過去の被災地における地域づくりの教訓は、熊本に引き継がれているのか？	柴田祐氏（熊本県立大学環境共生学部 教授）	20
11/15	オンライン勉強会	災害時の支え合い～令和 3 年 8 月佐賀県豪雨災害の住民･ボランティアの取り組みから学ぶ～	鈴木隆太氏（一般社団法人おもやい　代表理事）	23
12/16	オンライン勉強会	災害時の支え合い～令和元年台風 15 号・千葉県鋸南町の災害ボランティアから学ぶ～	笹生さなえ氏（鋸南復興アクセラレーション副代表） 清水多佳子氏（同役員）	8

＜2021 年度勉強会 感染症対策　無料公開　開催実績＞

日	内容	テーマ	講師	受講者数
1/23～24	オンライン勉強会動画無料公開	大震災 25 年　共助と協働のこれから 災害時のお金の話～震災当時の神戸支店長として～	室崎益輝氏（兵庫県立大学減災復興政策研究科科長） 遠藤勝裕氏（阪神・淡路大震災時、日本銀行神戸支店長）	14
1/30～31	オンライン勉強会動画無料公開	災害ケースマネジメント 復興まちづくり支援の 思想とプランニング	津久井進氏（弁護士・日本弁護士連合会災害復興支援委員会委員長） 野崎隆一氏（神戸まちづくり研究所理事長）	23
2/6 ～7	オンライン勉強会動画無料公開	豪雨水害の被災地から～熊本県球磨川流域の状況～	柴田祐氏（熊本県立大学環境共生学部 教授）	20
2/13～14	オンライン勉強会動画無料公開	台風 19 号から 1 年　被災者は今　～生活再建支援から見える被災者の機微～	菅野由香理氏（地域支援団体 Connect Feelings 代表）	30
2/20～21	オンライン勉強会動画無料公開	令和 2 年 7 月豪雨の被災地の現状と課題～福岡県大牟田市･久留米市に関わる外部支援者の立場から～	江崎太郎氏（特定非営利活動法人ＹＮＦ代表理事） 【解説（録画）】津久井進氏（弁護士・日本弁護士連合会災害復興支援委員会委員長）	16

交流の場づくり部門

●地域間交流事業

［事業概要］

2004 年の台風 23 号で出石川が決壊し、被害にあった兵庫県豊岡市出石町鳥居地区。当団体は 2005 年 2 月より、被害を受けた市民農園予定地（3,000 平方㍍強）を借り、農作業に取り組みました。2007 年 3 月に市民農園がオープンした後も、地域住民や農園利用者等とともに資源を発掘し、生かし、復興活動だけで終わることなく、地域活性化のために工夫しながら「コミュニティーの持続的な発展を支援すること」を目標に取り組みました。

［2021 年度の活動］

昨年度で畑を耕しての支援は終了しましたが、兵庫県豊岡市出石町鳥居地区を拠点に事業を行っている「暮らしの学校 農楽（の～ら）」が作った野菜のセットを当団体のメールニ

ュースで紹介し、購入を呼びかけました。売上の一部は、当団体へご寄付くださいました。

●国際交流事業

［事業概要］

阪神・淡路大震災（1995 年）と台湾集集大地震（1999 年）の交流から始まった当団体の国際交流事業。台湾だけでなく、アメリカ、インドネシア、中国、韓国等々、様々な国の方々と、災害からの復興や、地域づくりで交流をしています。

［2021 年度の活動］

2021 年度はコロナ禍のため、実施できませんでした。

情報発信部門

●情報発信事業

［事業概要］

当団体では、阪神・淡路大震災当初から、被災地の状況を伝えるため、積極的に情報発信を行ってきました。最初は機関紙から始まり、メール、ホームページ、SNS と時代に合わせた媒体を使いながら、常に情報発信をしています。最近では、防災や復興まちづくりについての情報発信を積極的に行っています。また、人が集う場に出席し、被災地の復興まちづくりやまち・コミの活動について伝えるとともに、マスコミや各種団体の取材等にも対応しています。

［2021 年度の活動］

① 季刊まち・コミ

４号、各号６ページの通信誌を発行しました。会員や寄付者のほか、事務所の来客等に配布いたしました。

＜2021 年度季刊まち・コミ一覧＞

号	発行日	特集タイトル	郵送数
春号	3/13	２０２０年度　活動のご報告	391
夏号	6/28	設立 25 周年を迎えて	358
秋号	11/3	住民災害ボランティアの必要性 ～過去の災害現場を見てきた経験から～	363
冬号	12/9	孤立する被災者を無くしたい ～被災者を専門家へつなぐ人の必要性～	341

② WEB まち・コミ　http://park15.wakwak.com/~m-comi/

「季刊まち・コミ」のＰＤＦデータ版、2020 年度活動報告、2020 年度計算書類等、新規情報をアップしました。

③ まち・コミブログ・フェイスブック

日々の活動を中心に、活動を報告しています。2021 年度はフェイスブックを中心に、日々の活動の記事を 15 本アップしました。

④ まち・コミメールニュース

4 通のメールニュースを送信しました。

＜2021 年度メールニュース一覧＞

送信日	内容	送信数
3/22・23・25・29	オンライン勉強会(熊本地震から 5 年)と季刊まち･コミ WEB アップほか	6046
8/27・29・30・31	有機無農薬のじゃがいも、いかがでしょうか？	6045
11/8・9・10・12	オンライン勉強会（佐賀県豪雨災害）と季刊まち･コミ WEB アップほか	6046
12/7・8・9・11	オンライン勉強会（令和元年台風 15 号・千葉県鋸南町）ほか	6051

ニュース以外にも “テーマ毎（勉強会・講演会）に興味のありそうな方”、“開催場所に近い方”、“学生を誘ってくださる先生” 等、対象を絞って情報発信しました。

⑤ 被災地のつぶやき

インターネットで、被災者の声を毎日発信している。Twitter のフォロワー数は約 2510 です。フェイスブックのいいね！の人数は、約 1910 人になっています。

⑥ 災害への備え ～命・住まい・コミュニティー～

インターネットで、防災に役立つ情報を毎日発信している。Twitter のフォロワー数は、約 630 です。

【事業実施体制】

（１）　会議に関する事項

①通常総会

開催日　令和 3 年 2 月 11 日　午前 11 時 00 分から午前 12 時 00 分

開催場所　兵庫県神戸市長田区御蔵通5丁目211-4号-101（当法人事務所）

出席者　12 名（うち WEB 表決者 4 名、委任状出席 4 名）

議事内容　第1号議案　　2020 年度事業報告および 2020 年度決算報告承認の件

第2号議案　　定款変更の件

第3号議案　　役員報酬規程の改定および、役員報酬額決定の件

②理事会

第 1 回

開催日　令和 3 年 2 月 11 日　午前 9 時 00 分から午前 10 時 57 分

開催場所　兵庫県神戸市長田区御蔵通5丁目211-4号-101（当法人事務所）

出席者　6 名（うち WEB 表決者 2 名、委任状出席 1 名）

議事内容　第1号議案　　2020 年度事業報告および 2020 年度決算報告承認の件

第2号議案　　2021 年度事業計画および 2021 年度活動予算承認の件

③事務局会議　月 1 回　出席者：宮定章、戸田真由美

（２）　事務局体制

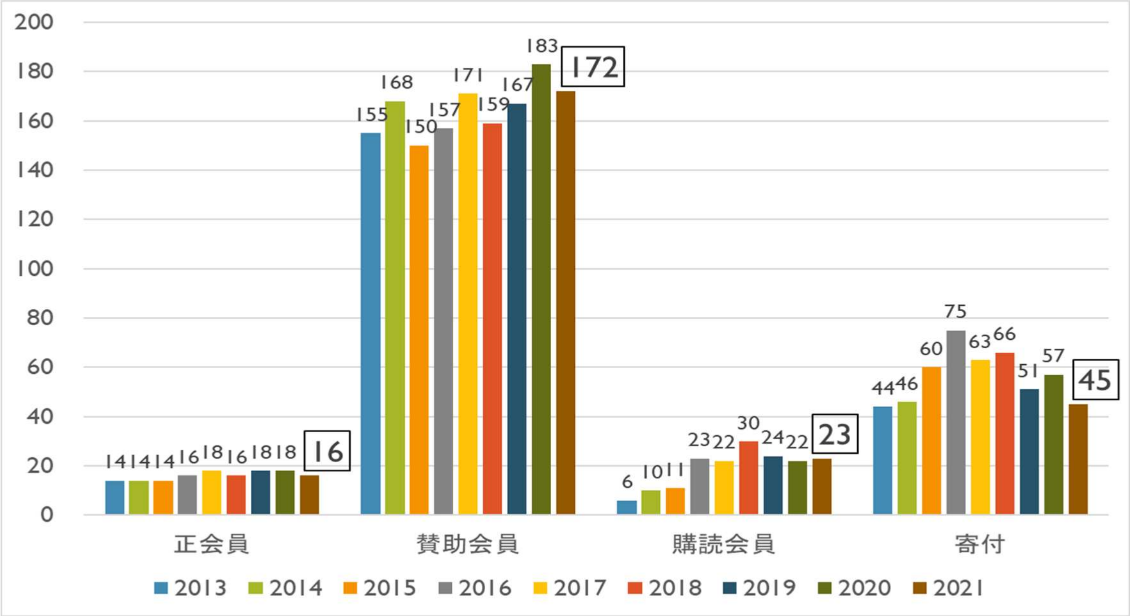
代表理事　宮定章　　　理事　戸田真由美

（３）　会員

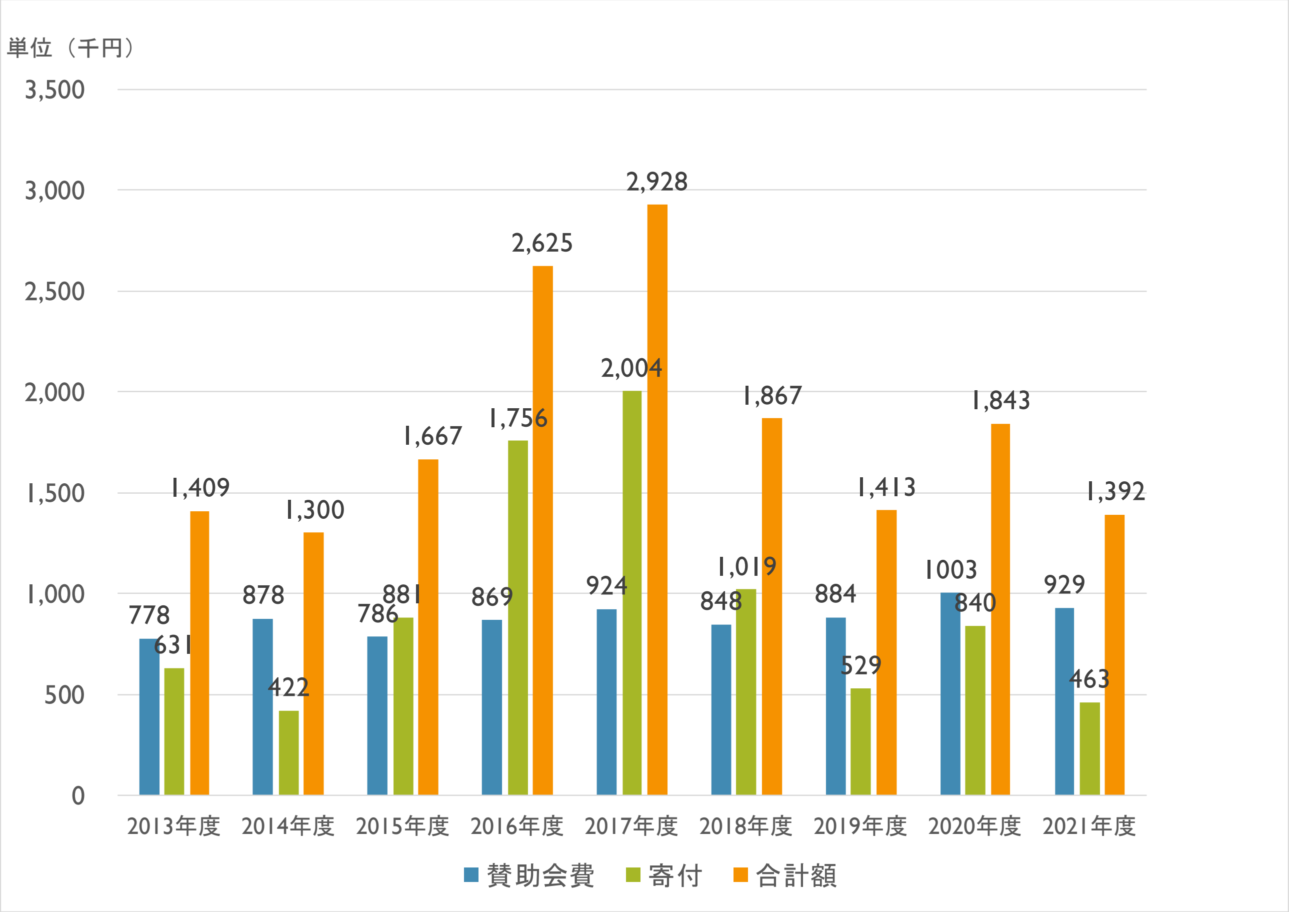
① 正会員　16 名

② 賛助会員　172 名

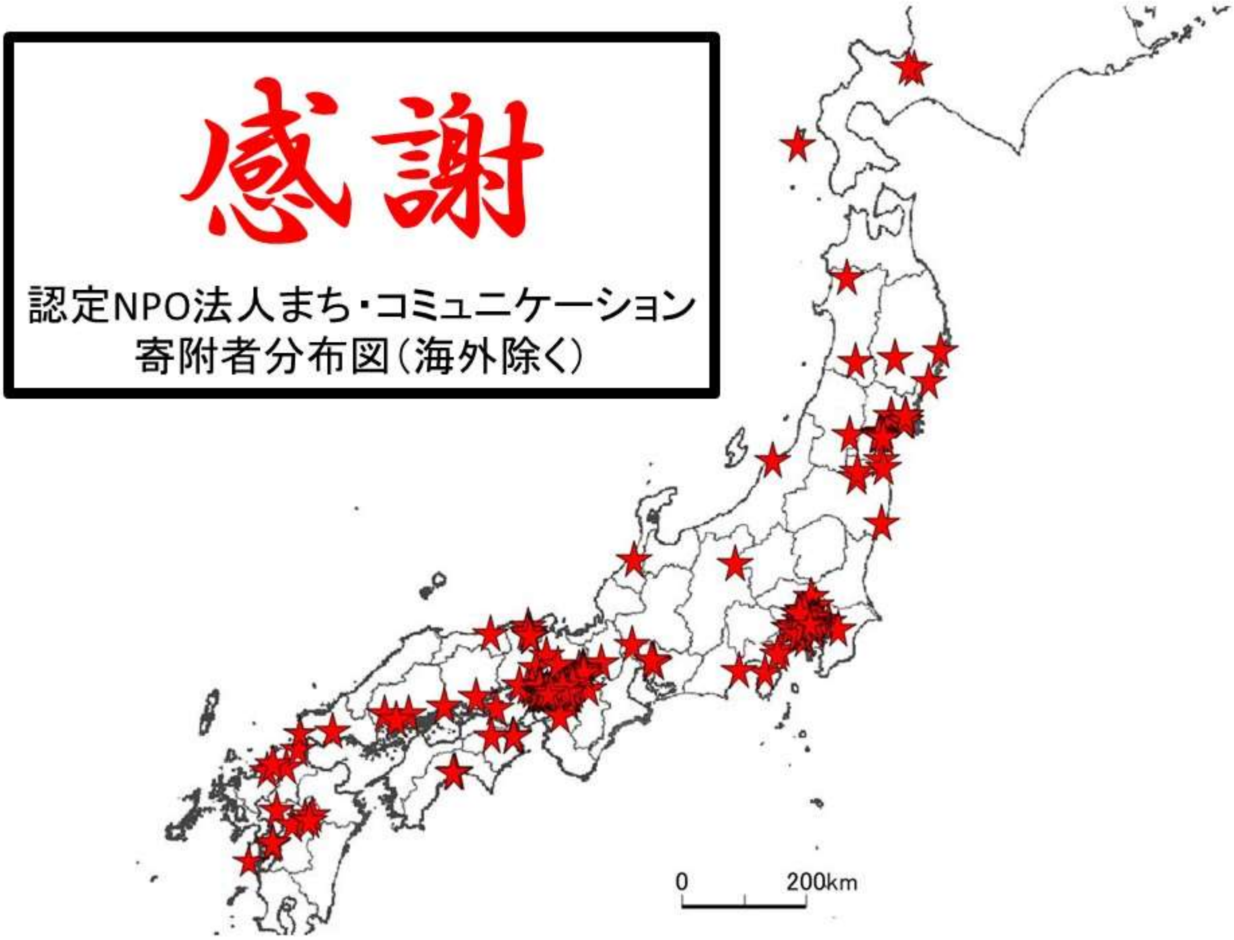
③ 購読会員　23 名



▲ 会員・寄付者数の推移



▲ 寄付額（賛助会費＋寄付）の推移



【資料】

●新聞掲載記事

１. 復興再考　第７部高台移転　合意形成　命優先人口流出防げず　安心、利便性求め町外へ（河北新報 2021 年 1 月 12 日）

２. 災害復興の担い手育成　和歌山大学で学生ら指導　長田の「まち・コミュニケーション」宮定代表（神戸新聞 2021 年 2 月 13 日）